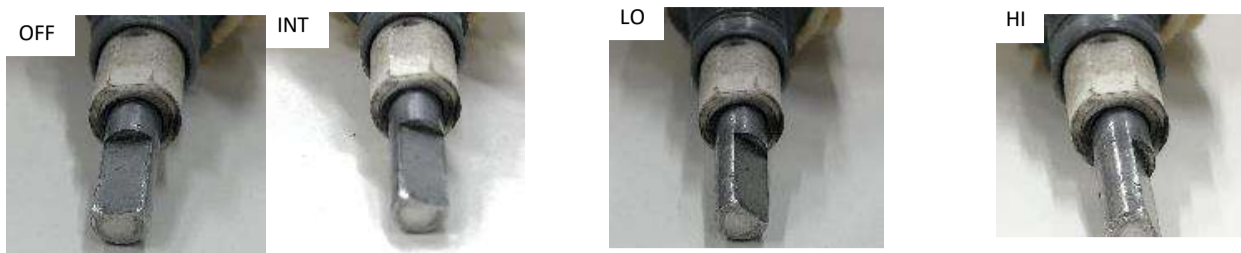
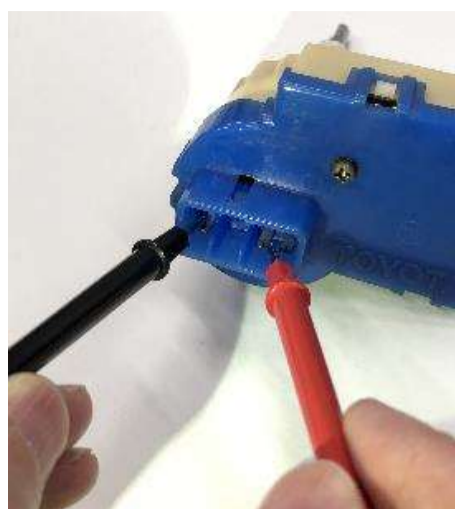


# ワイパースイッチ不作動時の修理概要

## <最初に>

ワイパーが動かない場合、**接点に塗布したグリスの劣化による導通不良が多い為、以下の処置を試されることをお勧めします。**  
はじめにOFF、INT、LO、HIそれぞれの導通をご確認下さい。100Ω以上であれば接点の清掃を行います。以下お進み下さい。  
100Ω以下であれば接点は正常であり、他の部分を点検ください。



テスターを当てる端子  
(OFFとINTは同じ位置)



テスターを当てる端子



テスターを当てる端子

## <修理方法>

①爪3か所をマイナスドライバーで浮かせて青色ケースを外す。

※爪は長期使用による劣化により割れやすくなっておりますので、力を入れ過ぎないように十分ご注意ください。

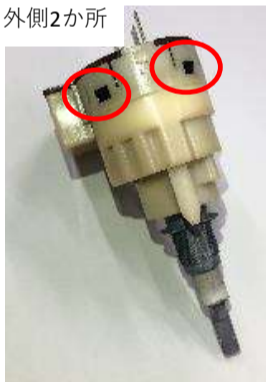


②爪3か所をマイナスドライバーで浮かせて基盤を外す。

※爪は長期使用による劣化により割れやすくなっておりますので、力を入れ過ぎないように十分ご注意ください。

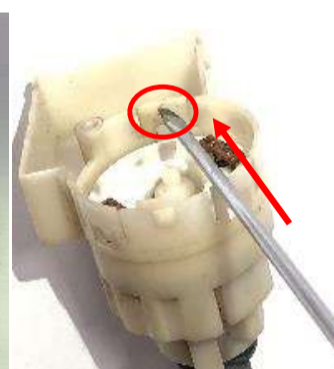
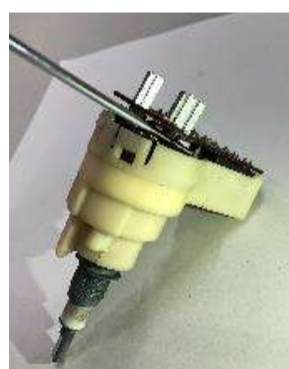
※3箇所目の爪は、外側2箇所の爪を浮かせてから長いマイナスドライバーで3箇所目の爪を内側から浮かせて外して下さい。

外側2か所



3か所目

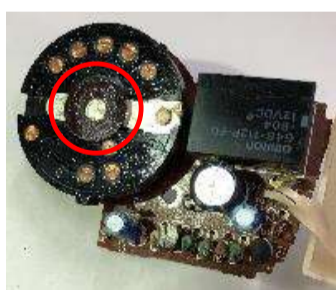
矢印方向の  
奥にある  
爪を押す



矢印方向に押す

※この写真は基板を外した状態にて撮影されていますが、実際には基板がある状態で隙間から差し込む時のドライバーの方向を示しています。

※取り外しの際、以下2部品の紛失にご注意下さい。



③各接点に着している不純物を除去下さい。

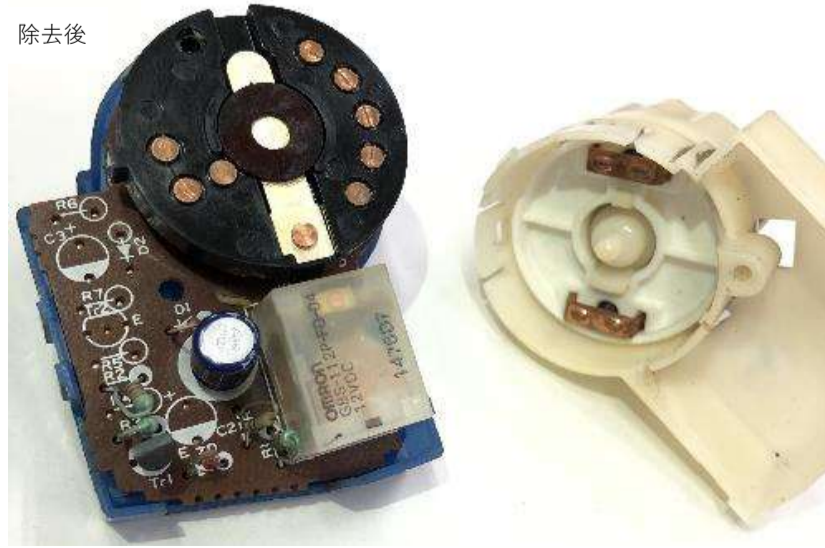
※ティッシュではなく、毛羽立ちや紙粉が出にくいペーパーウエス等の使用を推奨します。



除去前：接点に汚れあり



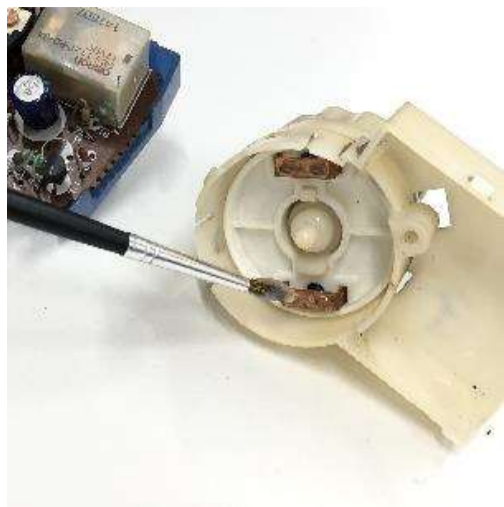
除去後



④各接点にグリスを塗布する。

※市販のグリスの中には、接点周りにある部品に悪影響を引き起こす可能性があるものも存在しますので、トヨタ品番：84659-12010を別途購入いただき、塗布いただくことをお勧めします。

※グリスは細い刷毛等で接点部（丸い金属部）のみに塗布し、他の部分には付かないようにしてください。



⑤部品を復元する際は、外した時と逆の手順で組み立ててください。

⑥最後にOFF、INT、LO、HIそれぞれの導通確認を行ってください。

各パターンの端子にテスターを当て、100Ω以下であれば正常に作動します。

※テスターを当てる箇所はページ頭に記載。

100Ω以上であれば接点の清掃を再度行って頂き、それでも改善しない場合は、部品交換等の処置をお願いします。